

令和 年 月 日

様

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

すでにお聞きになっていることとは存じますが、貴殿に私どもの養子になっていただきたいのです。私どもは子供もなく、このままでは、江戸から代々続いた家系が途絶えてしまいます。

このような考えが古いことは、重々承知しておりますが、私どもの代で家系を途絶えさせるわけにはいきません。

そのため貴殿のような優秀な方を、ぜひ我が家に迎えたいのです。

誠に勝手なお願いであり、貴殿には、ご迷惑をかけることになりましたが、何卒、私どもの養子になっていただくよう切にお願い申し上げます。

敬具